

団体名	国立大学法人島根大学国際交流センター						
事業名	しまねの里山と世界をつなぐ縁結びプロジェクト2018 in 邑南町						
実施期間	2018年8月31日～9月3日						
場 所	島根県邑智郡邑南町						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	13		3	322	10		348名

<実施内容>

本学留学生の日本文化理解を深めるため、島根大学との包括協定を結んでいる邑南町で、第9回目となる留学生研修旅行を8月31日(金)から9月3日(月)にかけて実施しました。

今回は8カ国13名の留学生とサポート日本人学生3名、そして引率の国際交流センター教員2名他職員1名の総勢19名のメンバーで邑南町を訪問し、「しまねの里山と世界をつなぐ縁結びプロジェクト2018 in 邑南町」と銘打ち、農家民泊での田舎生活体験、邑南ご自慢グルメの集い、県立矢上高校の文化祭参加及び日貫小学校での児童との交流などを行いました。

初日は矢上高校の生徒との交流を行いました。本年度は文化祭と重なったことからファッションショーという形でステージに参加し、民族衣装の紹介や文化紹介を行いました。高校生からは歓声も上がり、活気ある積極的な交流の場となりました。同日、農家民泊が始まり2泊3日の農家民泊を通し、農作業体験や住民の方々との暮らしを体験する中で里山の日常の生活や伝統、そして人々の温もりを改めて体感することができました。それぞれの家庭で留学生とホストファミリーが協力し、調理して持ち寄りごちそうを食べる「邑南ご自慢グルメの集い」では留学生、農家民泊のホストファミリーが双方に感想を述べ、お腹も心も満たされる非常に有意義な交流の時間となりました。その後は雪田神楽団を訪問し迫力溢れる石見神楽「大蛇」を鑑賞し衣装の体験もさせてもらいました。最終日の日貫小学校では自国紹介のプレゼンテーションを行ったほか、ミニ運動会、給食の時間を共にし、楽しいひとときを過ごしました。交流の時間は短かったのですが多くの留学生にとって日本の小学校を訪問するのは初めてのことで、新たな発見や小学生のひたむきな姿勢に心打たれていました。また、この研修旅行では邑南町という地域並びに地域の活性化について学びを深めました。邑南町の豊かな自然に生息するオオサンショウウオの博物館、瑞穂ハンザケ自然館を訪問したり、かつて銀で栄えた久喜・大林銀山を訪問し実際に坑道にも足を踏み入れました。そしてその地域の学びの集大成として邑南町役場の寺本氏から、「答えは地域にある」というテーマで、地方の課題と邑南町がA級グルメを通じて地域活性化を推進した背景やコンセプトについて説明を受けました。

3泊4日の旅行の中で留学生たちは邑南町の歴史、生活、文化や伝統芸能に触れ、日本の里山の持つ文化の奥深さを体感すると共に地域の方々と様々な場面で時間を共有し、国籍、年齢、言葉、文化を越えて相互理解を深める貴重な体験ができました。本事業は、中島記念国際交流財団の助成を受け、実施したものです。

<記録写真>



邑南ご自慢グルメの集いの様子



日貫小学校児童とミニ運動会の後の汗と共に記念撮影



釜でご飯炊き

<参加者からのコメント>

王 酪さん(中国)/Wang Ming

初めて、邑南町の活動に参加して、楽しかったです。母国以外のごとくに、家族、「家」の温もりを感じました。交換留学生と違い、ホームシックを感じている長期留学生の生活に色彩をつけました。初日、日本の学校に入って、ワクワクしました。矢上高校の文化祭に参加して、漫才と劇があって、日本の高校生の元気に感動して、中国グループのファッションショーが一番目で、すごく緊張しました。高校生達楽しんで、ファッションショーを見てくれました。帰りに、車に乗った後にも手を振りながら、見送りの様子今でも、鮮明に覚えています。

午後、ホームステイ先、民泊の方々が迎えに公館で集合した時に、挨拶を頼まれて、緊張感が一気に高まったことで、言ったことはすっかり忘れてしまいました。

ホームステイに二泊して、久しぶりに、家へ戻った感じをしました。最初は一人のホームステイに不安を感じましたが、磯部さんは親切にしてくれて、ホットしました。翌日、目を覚めて、朝ごはんの用意が大抵できました。私は、味噌汁を入れて、皆が席について、朝ごはんを食べ、一日の家族生活を始めました。草刈をしようとしたのですが、天気が悪くて、家で、かごを編むことにしました。二日間をかけて、物いれを作りました。記念として、磯部お母さんが作ったバックをプレゼントとしていただきました。長い留学生生活の中で大切な思い出です。

民泊が終って、久喜銀山の洞窟に行き、蝙蝠を見ながら、洞窟の深いところまで進みました。午後、英語の台詞の神楽を見て、皆が楽しく見て、最後写真をいっぱい取りました。

学校生活は後半で終わりますが、最後の夏休みに、いい思い出ができて、本当に良かったです。

デヴコタ シャイルンドラさん(ネパール)/Devkota Shailendr

今回の研修旅行で、私は人生で初めて日本の家族と過ごしましたが、それは素晴らしいものでした。日本の家族はとて私たちに気をかけてくれて嬉しかったです。いかなる時も私たちが快適であるかを考えてくれました。素晴らしいおもてなしを受け、私はとても感動しました。言葉では言い表せませんがそれが通じていることを私たちは感じました。これは私の第二の家族です。絶対に忘れることはできません。将来必ずまた行きます。家の近くの神社へ行きました。そこではお祭りをしていました。すごく近くで日本の文化を見ることができました。昨日と同じようにあつという間に一日は美しい人々と今でも思い出すおいしい料理で過ぎていきました。

最終日、日貫小学校へ行きました。ここでは児童を訪ね、一緒に遊びました。小学生はよく教えられていました。それに私たちに興味を持っているようでした。一緒に遊ぶことでずっと仲良くなりました。一緒に給食を食べた時が一番楽しかったです。児童との時間は私の小さかった時の記憶を蘇らせます。ついに小学校を後にする時が来ました。小学生とまだ一緒にいたかったのでさよならし難かったです。しかし、私たちは人生は動いているのを知っています。なので私たちもこの理のように動かなければいけません。

邑南町の旅は私の人生の中でも忘れられない旅の一つです。私はいろいろな種類の喜びや平和をいたるところで感じました。邑南町にいた時、天国にいるかのような。美しい自然、風のそよぐ音は自然の音楽でした。素晴らしい忘れられない旅でした。